

烏山城築城 600 年記念まち歩きマップ

詳しくは「なすから まちなか」で検索。又は下記の QR コードから！



レンタサイクル はじめました〜♪

場所: JR 烏山駅前案内所
料金: 1台 500円〜 / 1日

※数に限りがあります

烏山城について

応永24年(1417)、那須氏一族の沢村五郎資重によって築城されたとわれています。それ以降、天正18年(1590)に当主那須資晴が、山田原運参を理由に豊臣秀吉によって改易されるまで、那須氏の居城となりました。戦国末〜江戸中期においては、織田氏、成田氏、松下氏、堀氏、板倉氏、那須氏、永井氏、稲垣氏と頻りに城主の交代が行われ、万治2年(1659)、時の城主であった堀親昌によって、城の東山麓に新たな居館(三の丸)が築かれ、以後の藩政機能はこちらに移ることとなりました。享保10年(1725)になると、譜代大名の大久保常春が江州(現:滋賀県)より移封され、その後八代、約140年にわたって大久保氏が城主となりました。